



〈73号〉

医療法人 畏敬会
井野辺病院

大分市中尾字平255番地

TEL 097-586-5522

FAX 097-586-5656

2020年5月1日発行



院長 井野邊 純一

2020年度の抱負

皆さまこんにちは。院長の井野邊純一です。現在4月18日の土曜日ですが、大変な世の中になりましたね。コロナウイルスの上陸により日本そしてこの世界の状況は一変しました。これからこの世界をどうやって生き抜いていくのか今までの当院の歩みを紹介しながら考えていきたいと思えます。

1. 絶対にコロナ感染者さんを入院内に入れない方針

まず、日本特に東京でコロナウイルス陽性者の報告があった時点でこれはいづれ大分にも来るぞと思われました（そしてその通りになりました）。井野辺病院には多くの高齢者の方が入院しており、感染した方が病院内に入るとそこから感染が連鎖していき、結局患者さんに感染し重篤な状態に陥る人が

が多数出ると予測されました。

そこで我々の方針はコロナ感染者を院内に一人も入れない、という事にしました。その為にまず入院患者さんとの面会は禁止としました。次に病院内への入り口を正面玄関の一つに区切り、そこで必ず体温チェックと体調の聞き取りをして平熱で健康な方のみ病院内へ入室可能としました。それから発熱した方や風邪をひいた方等の診察は院内では行わず、車で歩いていらした方はプレハブ内で診察をしてお薬や適切な治療をすることになりました。救急車でこられるような重症な方用にテントを設置してそこで診察する事にしています。現在大分市では、発熱外来もできてPCR検査もストレスなくできる体制が整いつつあります。当院では大分市と協力してコロナウイルス感染疑いの患者さんは積極的にPCR検査を受けていただき早期診断をして早期に治療を開始する体制を整えていきたいと思っています。

2. マスクや防護服、消毒液不足

我々医療従事者がコロナウイルスに感染してしまうと診療ができなくなり、医療崩壊が起こってしまいます。それを防ぐ為には十分な感染症対策の物品が必要になります。ところが日本中で感染対策の物品が必要となり九州でも田舎の大分市の我々の所には必要物質



来院の皆様にご協力をお願いしております。

が回ってこなくなっています。

そこで我々は知恵を絞って今ある物品の再利用を積極的に行っています。サージカルマスクは滅菌して再利用し、N95マスクも捨てないで72時間以上保管して再利用することにしました。防護服やフェイスガードはレインコートやクリアファイルを使用して自作しています。これもまた捨てずに消毒して再利用する予定です。消毒液も注文ができない品不足状態です。これも何とか自分達で工夫して調達する予定です。

3. 外来患者さんの電話診察

外来患者さんで比較のお元氣な方で、今の時期に当院まで出向いて診察することに抵抗のある方や、当方の判断でこちらにわざわざ来ないで自宅療養を継続したほうがいいと思われる方には、積極的に電話での診察を始めています。ご希望の方はご連絡下さい。できるだけご希望に沿うようにいたします。

4. 新しいCT導入

これはコロナウイルス対策というよりもたまたまCT入れ替えの時期でしたので、最新鋭のCTを導入することになりました。これでコロナウイルスによる肺炎等が早期に診断することが可能となります。

5. アフターコロナ時代へ向けての準備

現時点ではいつコロナウイルスの猛威が収束するのかわかりませんが、いい薬やワクチンの開発が始まっており、いよいよウイルス退治が現実のものとなるでしょう。その後にはやってくるアフターコロナの時代に対しても準備していかなければなりません。

今、考えているのはテレビ電話を利用したオンライン診療です。これと実際外来に来ていただく診察や訪問診療とを組み合わせていこうと思います。訪問看護や訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、デイサービスが必要な方が増加していくことも予想されます。できるだけ要望に応えていきたいと思っています。

また入院中の方と遠方の家族の人をテレビ電話で交流してもらったり、リハビリに必要な家庭訪問をテレビ電話で行うことも考えています。

6. 反復磁気刺激装置とMRIナビゲーションシステム導入

最後になりましたが、今年度は反復磁気刺激装置とMRIナビゲーションシステムを導入して脳損傷や神経難病の方々の磁気刺激治療を開始する予定です。これらが導入されると、脳損傷や神経難病の方々の内服治療、リハビリテーションに加えて磁気刺激治療がラインナップが上がります。

少しでも皆様へ希望の光がさすようにしていきたいと思えます。今年度も井野辺病院を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

井野辺病院のホームページをリニューアルしました
ご覧ください。

QRコード



井野辺病院の理念

人々がいきいきと暮らせるように、リハビリテーションを通して地域社会に貢献する。

常に高い目標をもち、人生の質の向上に努める。

「井野辺病院の運営方針」

＜リハビリテーション・ケア体制＞

急性期から在宅医療まで、充実したリハビリテーション・ケア体制を提供する。

＜医療体制＞

安全で質の高い医療を、インフォームド・コンセントに基づいて提供する。

＜職員の育成＞

患者・家族から必要とされる職員になるための教育に努める。

＜健全経営＞

職員の満足度向上に努める。

胃切除後の食事について

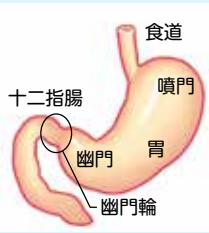


医師 佐藤 大亮

昨年6月から井野辺病院にお世話になっております。もともとの専門領域は一般外科と救急ですが、こちらでは消化器を中心に診療させていただいています。

さて日本人の死因の第1位(約30%)は悪性新生物で、生涯のうち一度でもがんになる人は全体の約半数ともいわれています。悪性新生物の中でも胃がんは特に日本人に多く、以前はがん死亡のトップでしたが、早期診断・治療法の進歩により現在、部位別死亡率では肺がんが続く第2位となりました。胃がんの治療は内視鏡的切除を含め外科的療法が主体になりますが、がんに限らず難治性(治りにくい)や穿孔性(穴が開いて腹膜炎を起す)などの良性の潰瘍に対しても外科的手術を行うことがあります。当院でも胃の手術後の患者さんが外来受診されたり入院されることも稀ではありません。胃の手術といえは胃を全部切除してしまふ、あるいは3分の1ほど残して切除するケースがほとんどです。そこで胃切除後の方が多いトラブルの一つは食事に関することではないでしょうか。多くの方は胃が全部なくなつた、あるいは3分の

1しか残っていないということも自覚されているので、1回の食事を少なめにして1日に何回も分けて食べることが必要であることはよく理解されています。しかし食べるスピードに関してはなかなか考えが及ばないようです。やや専門的になりますが、胃の出口には幽門輪という括約筋(緩めたり締めたりすること)で、内容物を必要に応じて通過させたり止めたりする輪状の筋肉)があり、胃の中で消化液と混和されどろろの状態(粥状)になつた食物を少しずつ十二指腸に送り出すという役割を持っています。




胃はもつぱら消化する役割が主なので、ほとんどの栄養素を吸収するのは小腸以降で行われます。言い換えれば幽門輪は胃で食物が十分消化され、小腸でゆっくり吸収できるように食物を送り出すスピードを調節しているといえます。胃を全切除、あるいは3分の2切除された方は、いずれもこの幽門輪も含めて切除されています。すなわち手術によつて幽門輪の機能がなくなつていくわけです。胃切除を受けた方が手術前と同じように食物をあまり噛まずに飲みこんだりすると、ほとんど消化できない食物が直接小腸に流れ込むことになり、結果、消化不良、逆流による嘔吐、食後高血糖、さらにはダンピング症候群など様々な症状を引き起こします。

そこで大事なのはゆっくりよく噛んで食事をする事です。胃を切除された方は、失つた幽門輪の機能を咀嚼で補うように、すなわち「口を胃の替わりに」してよく噛んで食事する必要があります。手術直後、病院では粥食が提供されますが、退院して通常の米飯食を開始したら、一般に「ひとくち30回、つまり食物ひとくち分を口に入れたら、とりあえずお膳に箸を置き次の食物を口に運ぶ前に30回程度よく噛んで飲みこむ」といって言われております。胃切除後の合併症(手術が原因となつて起こる症状)を起さなくなるまでにはこういった食習慣を身に付ける必要があります。


ただ胃切除後のトラブルは幽門輪の問題だけではありません。そのほか胃の手術後の食生活に関して何かご心配がございましたら、消化器科 佐藤までご相談ください。

最新鋭の「80列マルチスライスCTスキャナー」を導入しました
放射線課 主任 小濱 徹
2020年4月、当院のCT装置が更新され、最新鋭の80列マルチスライスCTが稼働することとなりました。



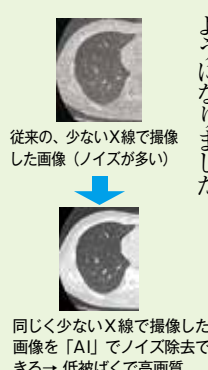

キャノンメディカル社製
80列マルチスライスCT「Prime SP」

これまで当院で稼働していたCT装置は「2列」でした。CTの性能を表す数値で、「列数」というのがあります。ものすごく簡単な表現で説明すれば、「同時に撮像できる断面の数」になります。数十年前までは、「1列」が当たり前で、「列数」という概念はなく、皆さんよくご存じの「体の輪切りの写真」を1枚ずつ撮像していました。もちろん「列数」の数値だけでCTの性能を表すことはできませんが、「2列」→「80列」にアップするたため、今回の装置更新により大幅なグレードアップが実現できました。これにより、従来よりも、「①より速く②より細かく③より広範囲④より少ない放射線被ばく線量」で検査することが可能となりました。



80列CTにより、輪切りの断面が得られ、より細かい断面方向の画像が得られるようになります。

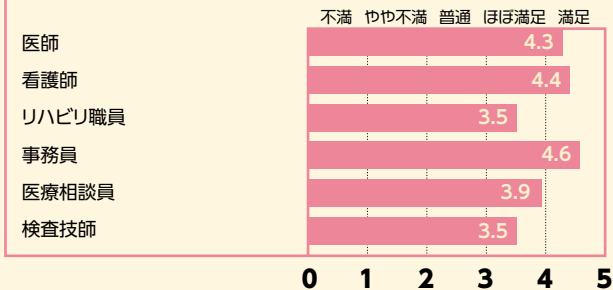
このAI技術により、たとえば肺がん検診などに応用できます。通常のレントゲン写真では発見しづらい小さな病変がCTでは発見しやすいのは有名ですが、被ばく線量が問題でした。今回のAIを使えば、レントゲン写真の被ばく量より「ちょっと多いくらい」の線量で高精度な肺がん検診を実施することが出来ます。他にも、「金属アーチファクト低減」や「デュアルエナジー」など新しい技術が搭載されています。これから、従来のCT装置では診断が困難だった症例も、より診断しやすくなるような画像を得ることが可能となつていくと思えます。装置の性能を最大限生かせるように、我々診療放射線技師も頑張りたいと思います。



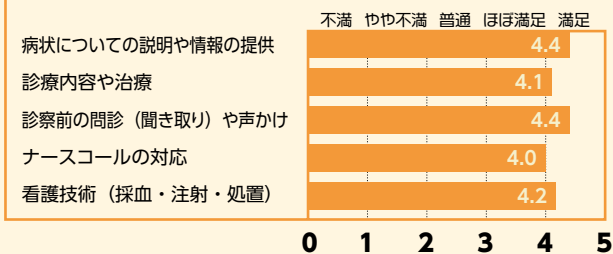
患者満足度調査(2019年度)のご報告

当院では外来患者さん、入院患者さんを対象に患者満足度調査をアンケートにて行っております。この度、アンケート集計経過(一部抜粋)を掲載させていただきます。皆さまの声を真摯に受け止め、より質の高い医療の提供、サービス向上に努めて参ります。 院長

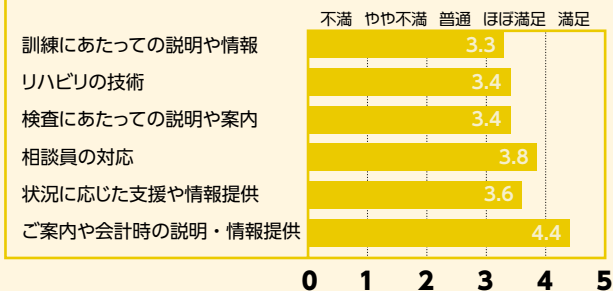
1.患者様に対する態度・身だしなみ・言葉づかい



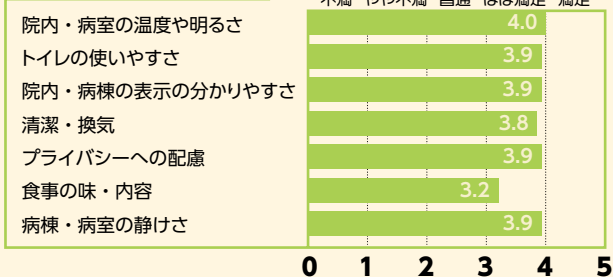
2.医師・看護師について



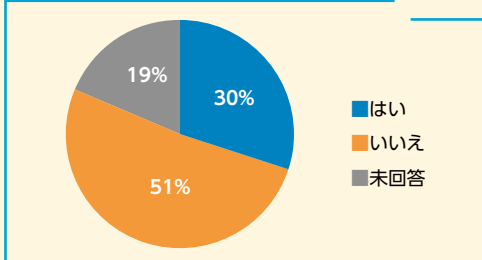
3.リハビリ職員およびその他職員について



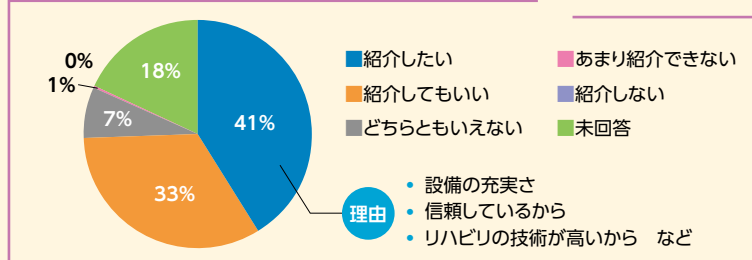
4.施設・設備について



5.待ち時間は長いと思いますか



6.当院を他の人に紹介したいと思いますか



要望事項 ※抜粋

- 日々の声かけ、見守り等ありがとうございます
- 自然の中を歩いたりしてリハビリもして病気が治りそうと思った。実際は外に出れない
- 入院まで待つ期間を短くしてほしい、それか他を紹介してほしい
- トイレの床が汚い
- 便座を拭くシートが欲しい
- トイレのプライバシーがまったくない
- 食事にもっと工夫が欲しい
- お茶がぬるい
- 食堂の食事ではなく、個室の場合は部屋で食べることも考慮してほしい
- 介護が必要ない場合、週に3~4回は入浴が出来れば良かった(現状は週2回入浴)
- トイレが病室以外に1つしかないのもう少しあったらいいと思う
- 食事がおいしくない、素材が悪い、味付けが悪い
- 入院の場合のリハビリが少ない
- 大部屋のトイレについて、高齢の方が多いのと重症患者さんが多いのは分かるが、ドアの開けっぴらなしのトイレ使用や便座をおろしたままでの小便での飛び散り等の衛生面の改善が必要と思った
- シャワーを1週間してなくて(少し風邪気味で仕方なかった)、今度の火曜日に1時頃からシャワーしましょうと言われていたが、その日になって面会に行ったがシャワーをしていなかった。1週間髪を洗っていないので、少し臭う
- 医師にはいつも丁寧に接していただき、看護師の皆さんに良くしていただき、リハビリの先生方全員に説明していただきながら、施術していただきありがとうございます
- 食堂が少し狭い
- 介助が必要な方の送り迎えが少し遅い
- 入浴時、反対の出口が自由なので困るし気持ち悪い
- 皆さんに良くしていただいている
- 井野辺病院がずっと大きくなっていくのが楽しみ
- 待ち時間がもう少し短くなって欲しい
- 院長先生のハートに感服です

「第七回
大分痙縮治療セミナー」

大分痙縮治療セミナーを開催しました。年に一回、三愛メディカルセンターさんと共同で開催してきた本研修も7回を数えます。3つの演題について発表があり、内、一演題を院長井野邊が痙縮治療について発表しました。



約70名の医療職の方が受講しました。

痙縮 (けいしゆく)とは

脳卒中の後遺症、脊椎損傷、頭部外傷などが原因で、運動障害の一つに痙縮という症状があります。痙縮とは筋肉が緊張しすぎて、手足が動かしにくい、勝手に動いてしまう状態のことです。症状は、手指が握ったままとなり開こうとしても開きにくい、肘が曲がる、足先が足の裏側のほうに曲がってしまうなどがみられます。痙縮による姿勢異常が長く続くと、筋肉が固まって関節の運動が制限され(これを拘縮といいます) 日常生活

痙縮 (けいしゆく)



- 筋肉が緊張しすぎてしまう状態で、手足がこわばったり、つっぱったりします。
- 片まひと同じ側の手足にあらわれることがほとんどです。

活に支障が生じてしまいます。また、痙縮がリハビリテーションの障害となることもあるので、痙縮に対する治療が必要となります。井野辺病院でボツリヌス療法にリハビリテーションを組み合わせた治療を行っています。

詳しくは井野辺病院外来までお問合せ下さい。
097-586-15522



「2020年度入職式」

4月1日今年もフレッシュな新入職員を迎え、入職式を行いました。コロナウイルス感染予防に考慮し、密接しないよう人と人との距離をとって簡易な形で式を執り行いました。井野辺病院の優秀な人材として育ってくださることを願っています！皆さまどうぞ見守って下さい。



4月1日今年もフレッシュな新入職員を迎え、入職式を行いました。コロナウイルス感染予防に考慮し、密接しないよう人と人との距離をとって簡易な形で式を執り行いました。井野辺病院の優秀な人材として育ってくださることを願っています！皆さまどうぞ見守って下さい。

井野辺病院ってどんな人がおるん!?

今回は、医事課の大塚沙季さんをご紹介します。



医事課 大塚 沙季

こんにちは。受付をさせていただいている大塚沙季です。主に患者様の対応やお会計をしています。

休日は友人と映画鑑賞や、好きなアーティストのコンサートに行つて楽しんでいます。旅行も好きで、旅先でのご飯も楽しみのひとつになっています。

まだまだ入って二年目の新人ですが、患者様の事を第一に考え、気持ちのいい挨拶と笑顔心がけていますので、困った事がありません。気軽な声かけして下さい。



みつはしさんのちよっと一品

今回のレシピは、3月3日の病院での行事食をお雛様弁当にしました

栄養士 三橋 由美子



①花形豆腐の蒸バーグのあんかけ ②桜形の泡雪寒 ③ほうれん草の和え物 ④ちらし寿司
その他(オレンジ、イチゴ、3色ゼリー、ひなあられ、お雛様カード)

① 花形豆腐の蒸バーグのあんかけ

【材料 1人分】
A: 花形の豆腐ハンバーグ40g (市販を使用) ... 蒸す (薄葛あん)・薄口醤油...3cc・酒...2cc
・みりん...0.5cc ・デンプン...0.5g
・出汁...50cc ・パセリミジン(飾り)
・茹でブロッコリー...2切
・茹でエビ...2尾・花形人参1

【作り方】
Aを蒸して、薄葛あんを作って、飾りを盛りつける

編集後記

ステイホーム、皆さんはいかがお過ごしですか?私はプチ断捨離とガーデニングで気分転換をしています。昨年挿し木をしたアジサイが、ツボミをつけてくれたので、何色の花が咲くか楽しみです。

いずみ担当

★今回、ちらし寿司には、人参、かんぴょう、高野豆腐、干し椎茸を具材に使用しましたが、今の季節だと、タケノコやフキを入れても美味しいですね。

ほうれん草の和え物は、しめじと人参と一緒に胡麻和えにしています。小松菜や白菜、キャベツでも代用できます。

※ 食事内容により、刻み食、普刻、一口大等に対応して盛り付けています。

② 桜形の泡雪寒

【材料 (40個分)】・寒天白・赤...各1本・水800cc
・砂糖・200g・卵白...4個分

【作り方】
①寒天を小さくちぎって水800ccに1時間つける (鍋に直接)
②沸騰するまで強火 (10分)
③卵白をしっかりと泡立ておく
④寒天が完全にとけたら砂糖を加え15分沸騰しながら混ぜる (中火)
⑤寒天液を裏ごしして60℃まで下げる
⑥泡立てた卵白に寒天液を混ぜながら入れる (手早くする)
⑦しっかりと混ぜ合わせたら平たいパットに入れて固めて、桜形でぬく